2021/01/28 15:25

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA)【情報 Vol.２５２】

各位（本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、
医療過誤団体、野党政党等の**約 400 カ所**へ送信しています）

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA）の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン（BZD）関連情報をお送りしています。
情報提供の送信方法を変更し、本メールでは【目次】のみを送信し、
【本文及び添付ファイル】は、下記の BYA-HP を参照いただく方式としました。

【目次】
１．厚生労働省への要望書又は抗議書など、皆さんから郵送しましょう【**皆さんへの依頼**】
２．官製談合防止法"違反容疑での職員起訴を受けた「第三者委員会調査報告書」および「第三者委員会の報告書を踏まえた再発防止策」について（**添付**）
３．国立循環器病センターの問題と第三者委員会（**全文添付**）
４．BYA 会計報告（**情報 Vol.251 に添付**）

【記事】
１．厚生労働省への要望書又は抗議書など、皆さんから郵送しましょう【**皆さんへの依頼**】
情報　Vol.246,247,249 でお知らせしている小林化工事件について、経口抗真菌剤イトラコナゾール＝水虫治療薬にベンゾジアゼピンの「リルマザホン塩酸塩水和物」（リスミー）を誤って混在させた事件では、死亡者や多数の副作用被害が生じています。当局は、この事件を「製薬会社の杜撰な薬物管理事件」とみていますが、実態は、「ベンゾジアゼピンの危険性を立証した事件」です。なぜなら、従前、ベンゾジアゼピン副作用は「原疾患」と誤認されてきましたが、小林化工事件では便疾患が水虫のため、水虫で死亡したとすることができず、期せずして、ベンゾジアゼピンの危険性が明らかになりました。そして、皆んさんが服用したベンゾジアゼピンの用量は、この事件で混在したベンゾジアゼピンとは比べ物にならないくらい多量です。したがって、明なことは「ベンゾジアゼピンの服用は死亡リスクがある」ということです。

そこで、皆さん自身が、自らの文章で、厚生労働省に対し、要望書又は抗議書など、皆さんから郵送しましょう。総務先は以下の局長・課長です。
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
厚生労働省 医政局長 迫井 正深 様
同 医薬・生活衛生局長 鎌田 光明 様
同 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課長 中井 清人 様
ベンゾジアゼピン薬害は、被害者が黙っていても何も解決に向かいません。被害者の皆さん自身の１人１人が声を上げるが重要ことであり、SNS も結構ですが、それよりも小林化工事件を通じて、規制当局にベンゾジアゼピン被害者自身の意見や要望・抗議などを文書で郵送して伝えましょう。その１つ１つが、ベンゾジアゼピン薬害の解決に効果を生じます。文書の書式は自由です。個人名でも BYA でも結構です。
当局へ陳情しても、相手が係長や課長補佐では決定権がありません。方針を決定できる局長・課長へ直接、文書で要求・抗議する方が効果的です。数百の文書が届けば、局長も無視できません。

2021/01/28 15:25
２．官製談合防止法"違反容疑での職員起訴を受けた「第三者委員会調査報告書」および「第三者委員会の報告書を踏まえた再発防止策」について（**添付**）
http://www.ncvc.go.jp/topics/post_10.html
　国立循環器病研究センター（国循）は、いわゆる「国循官製談合事件」において、平成 27 年、その再発防止対策を「第三者員会」で審議策定したが、そのとき、談合事件の刑事裁判が審理中であったが、その後、病院幹部の元情報統括部長の刑事事件の実刑が確定した（大阪高裁）。したがって、刑事裁判の実刑確定を踏まえて、「第三者委員会の報告書を踏まえた再発防止策」における各種の再発防止対策において、その後の進捗状況について法人文書の開示を請求している。開示請求費用は 1 件 300 円です。

３．国立循環器病センターの問題と第三者委員会（**全文添付**）
https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/opinion/mric/200812/509005.html
　国循の企画戦略局長の稲川　武宣は、MHLW の天下り組である。
稲川　武宣
2012 年 04 月　厚生労働省関東信越厚生局指導総括管理官
14 年 07 月　同健康局生活衛生課長
15 年 08 月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構　審議役
17 年 09 月　同　上席審議役
19 年 10 月　国立循環器病研究センター　企画戦略局長

４．BYA 会計報告（**情報 Vol.251 に添付**）
BYA 口座三菱 UFJ（大津町支店）_2021_1_24 残高の報告
●入金：45,000 円（寄付等）
●出金：0 円
　残高：45,000 円
現状、数件の寄付があり、出金はしておらず、BYA-HP 費用及び郵送・印刷費用等は、全額、多田個人の私費から出金しています。

当会への寄付金
●寄付のご意志のある方は、以下の口座へ寄付してください。関係機関への要望書の郵送や陳情などの費用に有効活用させていただきます。また、寄付金の会計報告を、適示、情報公開します。
●寄付口座
三菱 UFJ 銀行　大津町支店（支店コード 203）　口座番号　0322330
名義人　全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会　代表　多田雅史

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会　多田雅史